

(様式2)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 24 年 5 月 2 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3491100149		
法人名	医療法人社団杏愛会高橋医院		
事業所名	グループホーム恋の水		
所在地	広島県尾道市高須町924-33 (電話) 0848-46-2240		
自己評価作成日	平成24年1月6日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	
-------------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	(社福) 広島県社会福祉協議会
所在地	広島県広島市南区比治山本町12-2
訪問調査日	平成24年1月27日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>職員の入れ替わり等多く有り、現在やっと落ち着きを取り戻している状況です。 恵まれた環境に立地している強みを活かし、平地で散歩も行きやすく、郵便局や公民館も近く 閑静な古くからの住宅地に有り、生活の音や香りを感じながら すこしづつ周りの住人の方々に知ってもらえ、グループホームらしい生活の場を作り始めていま す。 地域の住人になれるよう、かかわりを持って行こうと思います。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>グループホーム恋の水（以下、ホーム）は、閑静な住宅地の一角にあります。ホームは、医療法人を母体とし、医師との綿密な連携で利用者・家族の安心感が得られるよう日々取り組まれています。ホームの近くにはホームの名称のもとでもある「恋の水の碑」があり、入居者の散歩コースとしても馴染みの場所となっています。 「安心」「穏やか」「優しく」をホーム独自の理念として掲げておられます。職員それぞれが気付いたことやアイデアを出し合いながら支援に努められています。また、地域との交流を図りながら、入居者がその人らしく暮らし続けられるよう取り組まれています。</p>

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	理念があるが、職員の移動が多く、理念達成には至っていない。	「安心」「穏やか」「優しく」をホーム独自の理念として掲げられています。また、理念をさらに掘りさげて職員全体で話し合い共有しておられます。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	<ul style="list-style-type: none"> ・外出、散歩の時挨拶を交わす。 ・ホームで行う行事に参加して頂くよう、地域の人に働きかけている。 ・地域の清掃活動に参加している。 	ホームは町内会に加入し、地域の溝掃除に参加したり、民生委員の協力を得ながら地域行事に参加されたりしています。また、玉すだれや大正琴などの地域ボランティアの受け入れも行い、入居者と交流が図られています。ホーム行事の夏祭りは、公民館を借りて地域住民と一緒に楽しまれています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	町内会の役員会に参加させて頂き、認知症への理解を深めるべく努力はしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2か月に1回行っていたが、昨年10月は、管理者引継等出来ていない為、又職員不足が続いていた為、開催できなかった。	運営推進会議は、地域包括支援センター、老人会、民生委員、家族などの参加を得て2か月に1回開催されています。会議の内容は、ホームの利用状況やホームでの活動や取組み状況などをDVDを用いて説明されています。また、入居者のホームでの暮らしぶりも報告されています。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	日常的に、行ってはいないが、制度上わからない事があれば、電話にてお聞きしている。報告事項等こまめに提出し、指導は受けている。	行政とは、ホーム運営で困難な事例や問題があれば、その都度相談し助言をもらうなど日常的に連携が図られています。	運営推進会議に行政の参加が困難な場合には、会議の報告を行い、情報交換や共有の機会を得て、より連携が深められるよう期待します。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>グループホームは、家だという視点はスタッフ全員持っており、身体拘束をしないケアは、当たり前ととらえている。マニュアル等もあるが、現況身体拘束を行った事がない為、同意書等用意している書式を利用した事は無い。</p>	<p>ホームでは、身体拘束をしないケアに努めておられます。日中は施錠せず、職員は見守りと入居者の習慣や思いをしっかりと把握し、安全面に配慮しながら、自由な暮らしが提供できるよう支援されています。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>事業所内での虐待が見過ごされることがないように入浴時あざがないか、確認するなど、注意を払い、防止に努めている。外部研修等を含め検討中である。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>現職員間ではおこなっていない。今後学習会の場をつくっていききたい。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時には、契約書を読み上げるだけでなく、時間をかけ、利用者、ご家族と話をさせていただいています。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>利用者親族が安心して話しかけられる様な雰囲気や、ゆっくり座って話せる場所作り等作りたいが職員不足により出来ていない事が多い。</p>	<p>運営推進会議に家族の出席があり、意見や要望を伝える機会が整えられています。また、月1回は家族との面会の機会をつくり、家族が意見や思いを伝えやすいような雰囲気づくりに工夫されています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	必要に応じ、リーダー会議をして月1回、各ユニット会議を開催している。	職員は、日頃のケアから得た情報をユニット会議の中で活発に意見交換し、意識統一が図られています。また、ユニット会議で出た意見の改善内容等を職員全員にメールで知らせ、意見を出した提案者をイニシャルで表示するなど、職員の意欲向上にも繋げておられます。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	資格取得の促しは随時おこなっている。現状労働時間に関しては、人手不足の為確約できませんが、きちんと残業をつける。サービス残業はしない様にうながしています。シフト上必ず月に1ないし2度の連休をとってもらっています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	職員のケアの実力については、できるだけ日勤帯におり、把握しているつもりです。個々の注意すべきところなどがあれば、随時指導をおこなっています。研修に関しては順次、実践者研修などについてもらう予定です。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	取り組みとしてはやっていますが、母体である高橋医院、訪問看護ステーションの人達と意見交換しています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	事前面接などで、要望などをお聞きし把握はしている。また、出来るだけ「寄り添う」べく全スタッフにて関係作りをおこなっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	事前面接などで、要望などをお聞きし把握はしている。また、コミュニケーションをとるよう全スタッフにて関係作りをおこなっている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	本人と家族が必要としている支援を見極め対応しています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	利用者の出来る事、出来ない事または得意としている事を把握し、家事を共に行ったり、畑作業をおこなったりしている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	家族との会話は出来るだけ行うようにしている。(面会時、支払い時など)		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	馴染みの関係を、制限することはなく、出来るだけ思い出の場所などに行けるよう支援している。(家族協力、スタッフとの外出)、	外食やカラオケ、ドライブなど一人ひとりの習慣や思いを大切にされた支援に努められています。また、敬老会への参加で、これまでの馴染みの関係が途切れないよう支援されています。日常的に交流のあるホームの入居者同士も、良い関係が築かれています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	スタッフが仲介者となりそれぞれの関係作りにつとめている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	現状、自宅にかえられたり、他施設への入居者はいないが、情報提供及び利用者同士の面会などはおこなっていききたい。必要であれば相談、支援もおこなっていききたいとおもっています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	出来るだけ利用者の意に添えられるよう支援をしていくが、家族との意見の違いがあり、家族の思いが優先になってしまいがちではあるが、利用者の思いはしっかり伝えていく。	職員は入居者との日常の会話、外出時、家族の訪問時等でゆったり時間をかけ、一人ひとりの思いや意向を汲み取るよう努められています。また、入居者の日頃の言葉や表情、仕草から思いや意向を把握し、職員間で共有できるよう取り組まれています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居時事前面接の際の聞き取り情報や、利用者との会話あるいは家族から聞いた話などから、生活歴を知るようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	介護記録に記載し把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	ミーティングで話し合ったことや、スタッフからの報告などをもとにおこなっている。	3か月ごとにモニタリングを行い、入居者に必要なケアが適切に提供できているかを確認しながら、計画の見直しが行われています。この度、介護計画書等の書式について見直しの検討をし、現状に即した計画の作成となるよう取り組まれています。	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	個別のノート作成し、帳簿を書きスタッフ全員で共有すべきだが、人員不足により記入できていない。		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	出来る限りの支援は行ないたいと思っている。		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	運営推進会議において地域資源の情報を頂きながら、参加可能であれば参加している。		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	利用者、家族の望むかかりつけ医に受診もしくは往診をしていただいている。また随時立会い状況説明や相談をさせていただいている。	入居者の希望を優先し、入居前と同じかかりつけ医が利用できるよう支援されています。また、専門医への受診が必要な場合は、かかりつけ医の紹介で適切な医療が受けられるよう対応されています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	訪問看護に週に一度訪問してもらっているが、気になる事や状態の変化があれば随時、連絡・相談をさせていただいている。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	入院された場合は入院先のケースワーカーの方と今後の相談をさせてもらっています。退院日が決まった時必要に応じ入院先に行き入院中の状態を把握し、退院後のホームでの生活の仕方の援助をして頂く時もある。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	事例が無く取り組んでいるとは言えないが、その場合、家族・利用者の意向をしっかりくみとり、各関係機関と連携をはかり支援していきます。	これまで看取りの事例はありませんが、医療が必要となる場合を除き、入居者を最期までホームで看取る方針を持たれています。また、本人の思いを聞くと共に、家族との話し合いを行い、最期まで穏やかな暮らしが提供できるよう取り組まれています。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	緊急時のマニュアルは作成されているが訓練はおこなっていない。ただし緊急時の対応として、学習会をおこなった。今後も回をかさねていきたいとおもっている。		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	消防、避難訓練はおこなっているが、夜勤帯での想定ではおこなっていない。また全職員が冷静に対応できるよう常に想定した話しをしていきたいとおもっている。	災害が起きた場合のマニュアルを作成され、災害時の手順について話し合われています。ホームでは、夜間を想定した避難訓練を予定されています。	災害時には、消防車などがホームに到着するまでに具体的な避難方法が必要となります。今後は、近所の消防団や地域住民にも協力が得られるよう期待します。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	常に心がけている。	日々の暮らしの中で、入居者一人ひとりのプライバシーや尊厳を大切にされています。入居者の状態に合わせてながら支援に努められ、本人の気持ちが塞ぎ込んでいる時には、昔の愛称で呼ばれています。職員は一人ひとりの人格を尊重しながら、穏やかな声かけで対応されています。また、入居者にも分かりやすい言葉で会話を交わされています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	すべての利用者が言えているとは思えない。遠慮されているかたもおられるが出来るだけ声かけし働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	ある程度、制度制約にしばられることなく支援したいと思っているが、人員不足により業務が優先される事が多かった。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	レベルの低下により本人の意思を尋ねるも反応が無い方には職員がその人らしい服を用意している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	レベル低下、職員不足により昼、夜が外注にしている。	食事は、配食センターによるものを提供されています。週1回は、ホームの手作りの食事を提供し、買い物から調理まで、味付け・配膳・片付けなどを入居者と職員が一緒に行う機会を設けられています。また、畑で採れた野菜を食卓に並べるなど、日々の暮らしの中で食事が楽しみと感ぜられるよう支援されています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>管理栄養士と相談し乍らバランス良く取って頂く様に配慮している。おやつ、間食が多ければその様に対応し、一度に少量ずつしか食べれない飲めない方には随時対応している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>個々にあった口腔ケアを朝、晩おこなっている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄チェック表を作成し、排泄パターンリズムを観察中。</p>	<p>入居者一人ひとりの排泄パターンを把握し、誘導によりできる限りトイレでの排泄ができるよう支援されています。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>寝起きに水分を摂っていただくなど、水分摂取に心がけ、現在便秘での服薬者はいない。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>1Wに2回の入浴日を決めているが本人に希望をきき、出来る限り希望に添った日時に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>入浴時間は、可能な限り入居者の希望に沿った時間帯で入れるよう支援されています。また、入浴を好まない入居者には、無理強いせず声かけや本人のタイミングなどを考慮しながら入浴できるよう工夫されています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	個々にあわせ、就寝時間の無理強いは行っていない。朝も出来るだけゆっくりできるように全員が揃っての食事は行っていない。ただし遅れる事に嫌悪されている方に関しては起床の声かけをしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	すべての薬について具体的にはりかいているとは言いが、服薬の誤りが無いよう数人でチェックをおこなっている。また症状の変化に気づけるよう常にこころがけている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	事前面接や入所後に伺った生活歴、趣味、趣向等について、GHで出来る事やってみたい事等実践したいが人員不足により実践できていない。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	要望には出来る限り応えたいと思っている。また、状況に応じて家族にお願いすることもある。また、一人で戸外へ出たい方に関しては引き留めず、見守れる範囲内についていっている。	入居者の体調に配慮しながら、天気の良い日には希望に応じて、恋の水の碑や近くの公園まで散歩に出かけたり、買い物へドライブに出かけたりされます。また、外食や通院など個別に対応されています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	全員が現金を所持しているわけではないが、一部の利用者は所持している。外出時お土産を買うなどされています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	現在手紙をかかれる方はいませんが、状況に応じて支援させていただきます。また、電話に関しては家族に了承頂き、希望時にかけていただいています。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	できるだけ、くつろげる空間作りをしています。季節に応じた飾りつけも派手にならないよう、利用者とおこなっています。	1階と2階でユニットが分かれ、同じ構造となっています。玄関や廊下には、家族が作成した季節の絵や絵手紙の他、入居者が活けた花が飾られ訪問者を楽しませています。廊下の片隅に椅子が置かれ、入居者は思い思いの場所で会話が楽しめるよう工夫されています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	フロアにソファを置いたり、食堂にテーブルが主な公共スペースになっている。又事務所も解放して自由に出入りしてもらっています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	ほとんどが、家族・利用者相談のもと行っています。また出来るだけご自宅で使用していた家具、ベッドなどを、使って頂くよう提案させてもらっています。	居室には、パイプハンガー、エアコン、カーテンが備え付けられています。入居者が使い馴れた机や椅子などを持ち込み、思い思いに配置を考えておられます。また、写真や自分で作った笠などを居室に飾り、居心地良く過ごせるようにされています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	歩行場所には手摺の設置。食堂は利用者同士が背中合わせにならないようにしています。（椅子がぶつからないように、後ろに下がった時、ぶつからないよう）また歩行の妨げにならないようにソファの配置をしています。背もたれが手摺の役割もはたしています。		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の3分の2くらいの
			③利用者の3分の1くらいの
			④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の3分の2くらいと
			③家族の3分の1くらいと
			④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
		○	④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている		①大いに増えている
			②少しずつ増えている
		○	③あまり増えていない
			④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の3分の2くらいが
			③職員の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の3分の2くらいが
			③家族等の3分の1くらいが
			④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	人手不足のため、共有を100%しているとはいえない。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	職員の年に2回の清掃作業への参加、各お祭りへの参加などはしているが日常的とはいえない。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	町内会の役員会に参加させていただき、認知症への理解を深めるべく努力はしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議は定期的に行っているが、最近ではスタッフの入れ替えなどが多かったため話し合う場と言うより、日常を伝える場となっている(通信や、DVDを活用)。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	日常的に、行ってはいないが、制度上わからない事があれば、電話にてお聞きしている。報告事項等こまめに提出し、指導は受けている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>グループホームは、家だという視点はスタッフ全員持っており、身体拘束をしないケアは、当たり前ととらえている。マニュアル等もあるが、現況身体拘束を行った事がない為、同意書等用意している書式を利用した事は無い。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>事業所内での虐待が見過ごされることがないように入浴時あざがないか、確認するなど、注意を払い、防止に努めている。外部研修等含め検討中である。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>現職員間ではおこなっていない。今後学習会の場をつくっていききたい。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時には、契約書を読み上げるだけでなく、時間をかけ、利用者、ご家族と話をさせていただいています。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>面会時に家族と話す時間をとらせてもらっている、また、できるだけ利用者や接するなかで希望などがあれば、スタッフ間で話し合い、日頃の業務の中でいかしています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>スタッフとは個別に話をする時間を設けるようにしている。ユニットミーティングを月に1回は必ず設けている。また必要に応じて開催している。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>資格修得の促しは随時おこなっている。現状労働時間に関しては、人手不足の為確約できませんが、きちんと残業をつける。サービス残業はしない様にうながしています。シフト上必ず月に1ないし2度の連休をとってもらうようにしています。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>職員のケアの実力については、できるだけ日勤帯におり、把握しているつもりです。個々の注意すべきところなどがあれば、随時指導をおこなっています。研修に関しては順次、実践者研修などについてもらう予定です。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>特に取組みはしていませんが、私自身が実践者研修で知り合った方と意見交換はさせてもらっています。高橋医院、訪問看護ステーションなどと意見交換はさせてもらっています。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>事前面接などで、要望などをお聞きし把握はしている。また、出来るだけ「寄り添う」べく全スタッフにて関係作りをおこなっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>事前面接などで、要望などをお聞きし把握はしている。また、コミュニケーションをとるよう全スタッフにて関係作りをおこなっている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>つとめています。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>利用者の出来る事、出来ない事または得意としている事を把握し、家事を共に行ったり、畑作業をおこなったりしている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>家族との会話は出来るだけ行うようにしている。(面会時、支払い時など)</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>馴染みの関係を、制限することはなく、出来るだけ思い出の場所などに行けるよう支援している。(家族協力、スタッフとの外出)</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	スタッフが仲介者となりそれぞれの関係作りにつとめている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	現状、自宅にかえられたり、他施設への入居者はいないが、情報提供及び利用者同士の面会などはおこなっていきたい。必要であれば相談、支援もおこなっていきたいとおもっています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	出来るだけ利用者の意に添えられるよう支援をしていくが、家族との意見の違いがあり、家族の思いが優先になってしまいがちではあるが、利用者の思いはしっかり伝えていく。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居時事前面接の際の聞き取り情報や、利用者との会話あるいは家族から聞いた話などから、生活歴を知るようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	介護記録に記載し把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	ミーティングで話し合ったことや、スタッフからの報告などをもとにおこなっている。		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	個別にノートを作成し、聴きだした生活歴などを記載するようにしている。それも、作成時の材料としている。		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	出来る限りの支援は行ないたいと思っている。		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	運営推進会議において地域資源の情報を頂きながら、参加可能であれば参加している。		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	利用者、家族の望むかかりつけ医に受診もしくは往診をしていただいている。また随時立会い状況説明や相談をさせていただいている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>訪問看護に週に一度訪問してもらっているが、気になる事や状態の変化があれば随時、連絡・相談をさせていただいている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院された場合は入院先の地域連携室やケースワーカーの方と今後の相談などはさせていただきます。現在に至るまで退院者はありませんが、必要に応じて連携はとっていきます。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>事例が無く取り組んでいるとは言えないが、その場合、家族・利用者の意向をしっかりくみとり、各関係機関と連携をはかり支援していきます。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>緊急時のマニュアルは作成されているが訓練はおこなっていない。ただし緊急時の対応として、学習会をおこなった。今後も回をかさねていきたいとおもっている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>消防、避難訓練はおこなっているが、夜勤帯での想定ではおこなっていない。また全職員が冷静に対応できるよう常に想定した話しをしていきたいとおもっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	常に心がけている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	すべての利用者が言えているとは思えない。遠慮されているかたもおられるが出来るだけ声かけし働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	出来るだけ利用者の個々のペースにあわせているがすべてとは言えない。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	服装は出来るだけご自分できめていただいているが、季節や気温により声かけをさせていただく場合もある。要望があれば毛染めもおこなう。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事は必ずスタッフも一緒に行うようにしている。出切り事があれば、声かけし利用者と共におこなっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>昼・夕食は外部より購入、朝食時々パン食にしたり、野菜をとってもらうようにしている。水分に関しては時間にとらわれず、随時声かけし摂取していただいています。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>個々にあった口腔ケアを朝、晩おこなっている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>リハビリパンツ使用者が多いが、時間ごとに誘導したり、落ち着きの無い場合など声かけ、誘導している。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>寝起きに水分を摂っていただくなど、水分摂取に心がけ、現在便秘での服薬者はいない。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>入浴日はきめているが、当日希望があれば入浴していただく。入浴方法、出湯のタイミングは出来るだけご自分できめていただいている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	個々にあわせ、就寝時間の無理強いは行っていない。朝も出来るだけゆっくりできるように全員が揃っての食事は行っていない。ただし遅れる事に嫌悪されている方に関しては起床の声かけをしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	すべての薬について具体的にはりかいしているとは言いが、服薬の誤りが無いよう数人でチェックをおこなっている。また症状の変化に気づけるよう常にこころがけている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	その日の気分や、要望に応じて食事に出る、ドライブに行くなどの支援をしている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	要望には出来る限り応えたいと思っている。また、状況に応じて家族にお願いすることもある。また、一人で戸外へ出たい方に関しては引き留めず、見守れる範囲内についていっている。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	全員が現金を所持しているわけではないが、一部の利用者は所持している。外出時お土産を買うなどされています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>現在手紙をかかれる方はいませんが、状況に応じて支援させていただきます。また、電話に関しては家族に了承頂き、希望時にかけていただいています。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>できるだけ、くつろげる空間作りをしています。季節に応じた飾りつけも派手にならないよう、利用者とおこなっています。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>利用者同士がお部屋でくつろげる時はお茶をだしたり、ベンチ的な場所を作り状況によっては喫茶店風にお好きな飲み物をお出ししたりしています。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>ほとんどが、家族・利用者相談のもと行っています。また出来るだけご自宅で使用していた家具、ベッドなどを、使って頂くよう提案させてもらっています。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>歩行場所には手摺の設置。食堂は利用者同士が背中合わせにならないようにしています。（椅子がぶつからないように、後ろに下がった時、ぶつからないよう）また歩行の妨げにならないようにソファの配置をしています。背もたれが手摺の役割もはたしています。</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の3分の2くらいの
			③利用者の3分の1くらいの
			④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の3分の2くらいと
			③家族の3分の1くらいと
			④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		<input checked="" type="radio"/>	③たまに
			④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている		①大いに増えている
			②少しずつ増えている
		<input checked="" type="radio"/>	③あまり増えていない
			④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	<input checked="" type="radio"/>	①ほぼ全ての職員が
			②職員の3分の2くらいが
			③職員の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input checked="" type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input checked="" type="radio"/>	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の3分の2くらいが
			③家族等の3分の1くらいが
			④ほとんどできていない

(様式3)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム恋の水

作成日 平成 24 年 6 月 5 日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	35	防災訓練時, 協力者への依頼が不備。	災害時の協力体制の整備。	24.6.13(水) 運営推進会議に於て協力要請の予定。	1年
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には, 自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は, 行を追加すること。